

施工説明書

アルミ製 浸水対策水切り

WMA-WS60 / WMA-WS60SD / WMA-WS60SI / WMA-WS60JC / WMA-WS60EC



この度は、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
正しく取り付けていただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。


安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

⚠ 注意


	この記号は、禁止の行為を示しています。
	この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。

	本製品に不必要な打撃を加えないでください。
	本製品の分解・改造などは行わないでください。
	沿岸地域(塩害のおそれのある地域)および濃霧多発地域、また、その他の錆を誘発する環境下へのご使用は避けてください。
	本製品は建物土台部に使用するものです。該当部以外への使用は避けてください。

保管についてのお願い

- 本製品の保管は、雨雪などのかからない屋内で平積みにて行ってください。
- 本製品の梱包内に雨雪などの水分が浸潤しないようご注意ください。
- 立て置き保管は小口を傷めたり、ソリや変形の原因になるおそれがあります。
- 本製品を梱包ケースの小口から引き抜かないでください。製品に傷が付く場合があります。










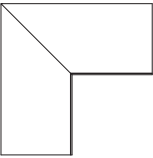
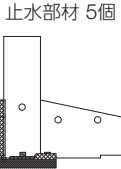

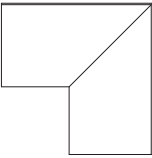
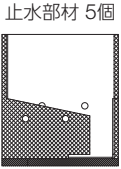

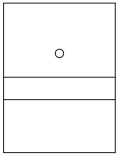
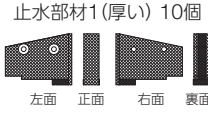
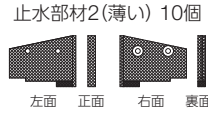

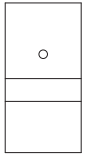
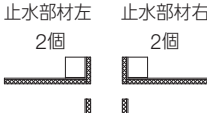
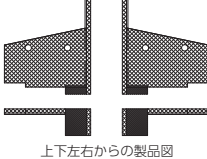









施工についてのお願い

	建築基準法並びに関係規則規定等に適合しているかご確認の上、ご使用ください。
	本製品下端のスリットや外壁側にある換気孔を塞がないようご注意ください。
	本製品は Joto キソパッキング工法の基礎外周に対して水膨張不織布や止水材が連続するように施工してください。
	本製品の特性上、製品の接合部は必ず各種役物をご使用いただき、隙間なく設置してください。
	銅・鉛など異種金属との接触・接合は、電食が起こる場合がありますのでご注意ください。 また、銅・鉛などを含有した薬剤処理物(銅系防蟻処理木材など)との接触も同様にご確認ください。
	鉄粉・モルタルなどの異物接触により、表面に変色や錆が生じる場合がありますのでご注意ください。
	本製品は金属製のため、手等を切るおそれがありますので十分注意してご使用ください。
	専用補修塗料(スプレータイプ)を準備しております。ご用命の際は最寄りの営業所へご連絡ください。

製品概要 P.2
 本製品の機能と目的 P.3
 現場で手配いただく工具・材料 P.3
 水切りの割付確認 P.3
 基礎の状態確認 P.4
 施工のルール P.4
 1.水切り固定位置の墨出し P.5
 2. 本体の加工と加工の際の注意点 P.5~7
 3.出隅部の施工 P.8
 4.入隅部の施工 P.9
 5.ジョイント部の施工 P.10
 6.エンド部の施工 P.11
 7.仕上がりの確認 P.11
 浸水被害があった際などに、止水部材 (交換パーツ) を交換する場合 P.11

製品概要

※品番末尾の-□□には色型番が入ります。

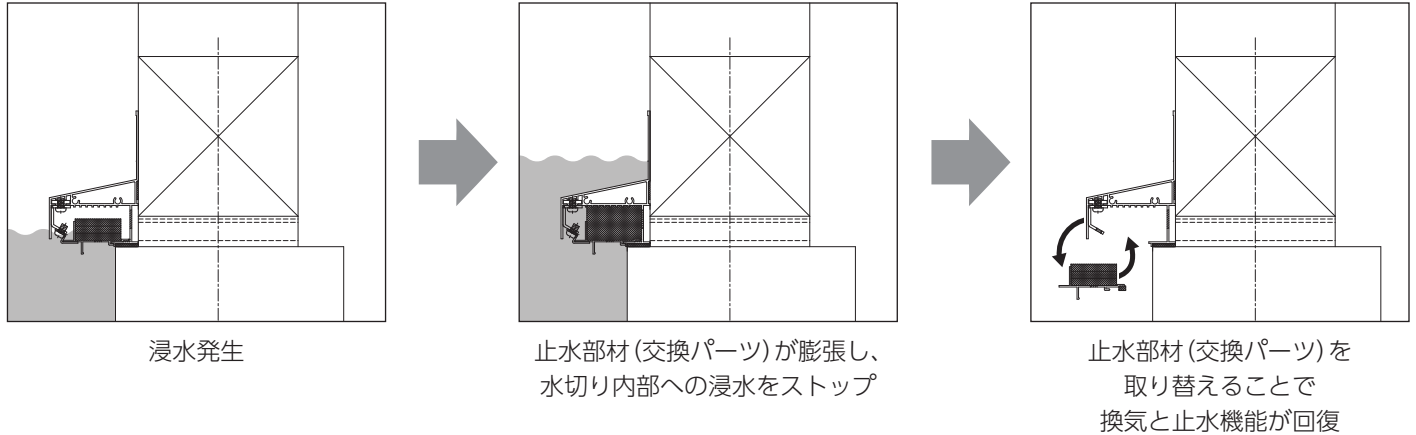
	本体	役物(別売品)				
品名	浸水対策水切り	出隅	入隅	ジョイントカバー	エンドキャップ	交換パーツ
品番	WMA-WS60-□□	WMA-WS60SD-□□	WMA-WS60SI-□□	WMA-WS60JC-□□	WMA-WS60EC-□□	WMA-WS60RP
色型番	SW / SC / BK					-
色	シルキーホワイト / ステンカラー / ブラック					シルバー
梱包	4本/ケース	5セット/ケース	5セット/ケース	10セット/ケース	2セット(左右各2個)/ケース	4本/ケース
付属品	組立・現場用部品セット (小袋入り)	本体取付用ビス (小袋入り)	本体取付用ビス (小袋入り)	本体取付用ビス (小袋入り)	本体取付用ビス (小袋入り)	組立・現場用部品セット (小袋入り)
セット 明細	本体: 3030mm 4本  止水部材(交換パーツ): 3030mm 4本  組立・現場用部品セット (小袋入り) 4袋 【小袋内容詳細】 止水部材側組立金具 5本  止水部材側組立ビス 5本  端部水膨張不織布(小) 1枚  端部水膨張不織布(中) 1枚  端部水膨張不織布(大) 1枚  端部固定部材用ビス 1本  端部固定部材 1個 	カバー 5個  止水部材 5個  本体取付用ビス (小袋入り) 4本入 5袋 	カバー 5個  止水部材 5個  本体取付用ビス (小袋入り) 4本入 5袋 	カバー 10個  止水部材1(厚い) 10個 左面 正面 右面 裏面  止水部材2(薄い) 10個 左面 正面 右面 裏面  本体取付用ビス (小袋入り) 4本入 10袋 	カバー 2個  止水部材左 2個 止水部材右 2個  上下左右からの製品図  本体取付用ビス (小袋入り) 4本入 2袋 	止水部材(交換パーツ): 3030mm 4本  組立・現場用部品セット (小袋入り) 4袋 【小袋内容詳細】 止水部材側組立金具 5本  止水部材側組立ビス 5本  端部水膨張不織布(小) 1枚  端部水膨張不織布(中) 1枚  端部水膨張不織布(大) 1枚  端部固定部材用ビス 1本  端部固定部材 1個 

本製品の機能と目的

本製品は浸水が発生した際に内蔵の止水部材（交換パーツ）が膨らむことで床下への浸水を抑制することを目的としております。そのため、本製品を取り付けていただく際には本体同士、本体と役物の取り合い部に隙間が生じないようにしっかりと施工をしていただく必要があります。

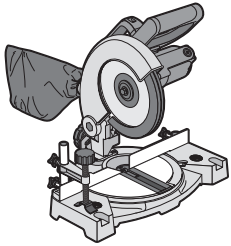
本製品の目的をご理解いただいた上で、本施工説明書の内容をご確認いただき施工してください。

浸水ストップの仕組み



現場で手配いただく工具・材料

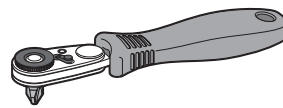
- 水切り切断用
切断機



- 穴開け用ドリルビット(鉄工用)
φ4.5～5mm程度の穴を開けられるサイズ



- 狭小対応
ラチェットドライバー
(入隅使用の場合)



- ヤスリ
- 電動ドライバー
- ステンレスビス
φ3.8×38mm程度
ナベ頭推奨
水切り固定用

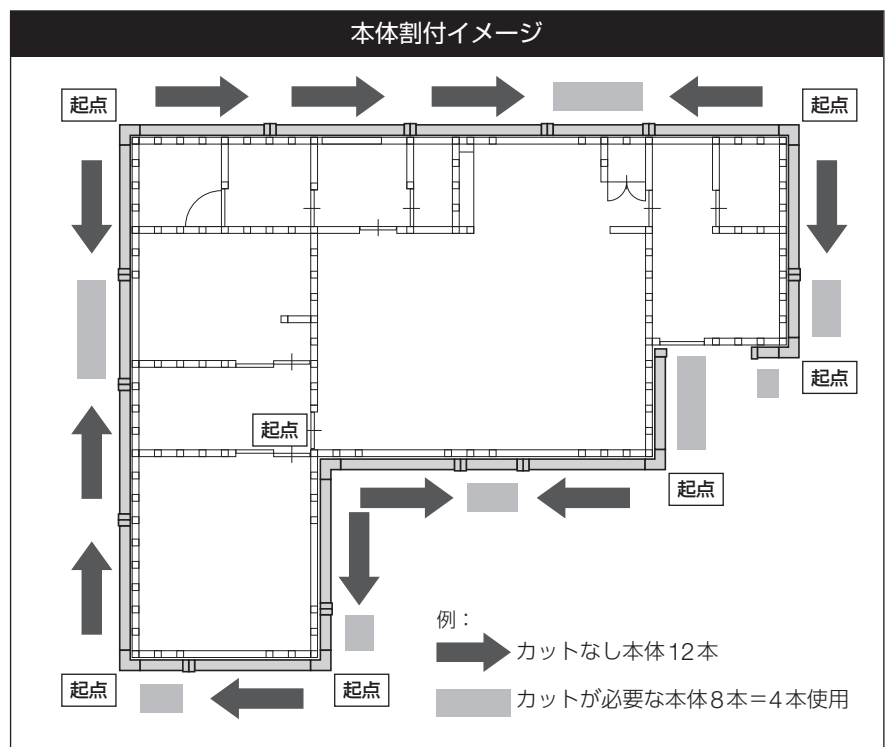
水切りの割付確認

建物の隅(出隅/入隅)を起点とし、できるだけ本体のカットが少なくなるように事前に割り付けてください。

※注意
建物の外周に設置される設備(エアコン室外機・エコキュート等)を想定し、止水部材(交換パーツ)の着脱がしやすい割付を計画してください。

※割付のポイント
本体の継ぎ目が少ないほど、止水上有利に働きますので、カットは最小限に計画してください。

※本体カットのポイント
出荷時の本体両端は水膨張不織布の端部加工がすでに施されているため、カットの際はどちらか一方の端部を残すと端部加工を1工程減らすことができます。

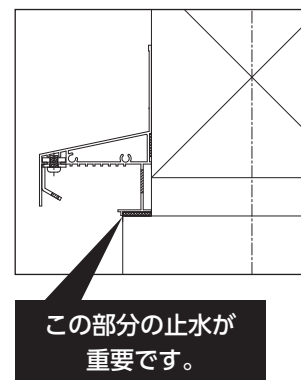
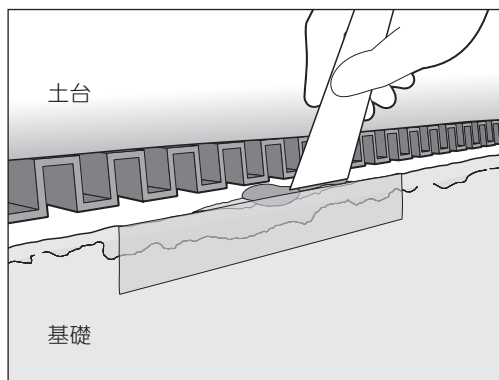


基礎の状態確認

施工の前に、基礎の状態を確認します。

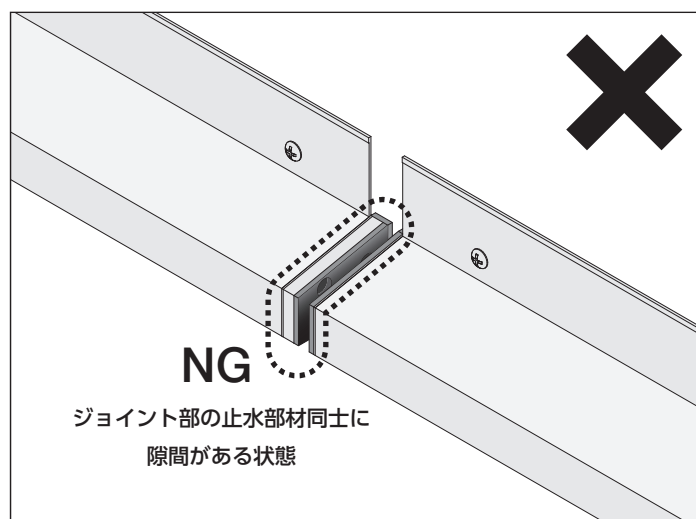
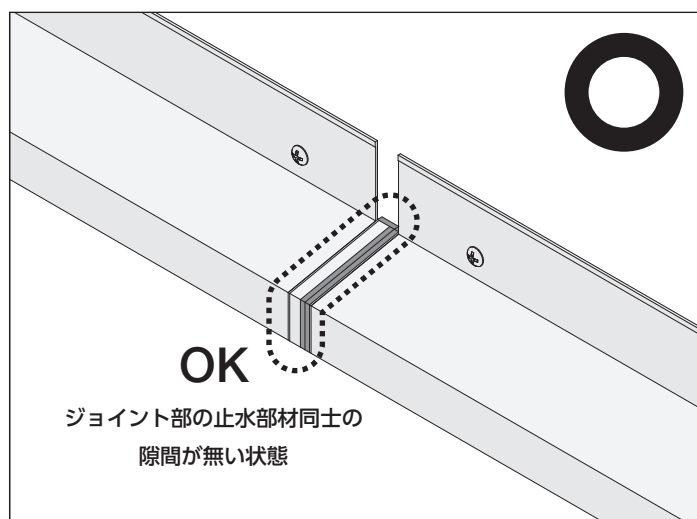
下記に当てはまらない場合、止水機能が十分に発揮されないおそれがありますので、必ず補修を行ってください。

- **基礎天端に水、木くずなどの異物がない。**
基礎天端に水があると水膨張不織布が膨張したり、異物による段差が止水性能に影響を与えるおそれがあります。
水や異物がある場合は、完全に取り除きます。
- **基礎天端が水平(平滑)である。**
基礎天端が平滑でないと隙間から浸水するおそれがあります。
平滑でない場合は、レベラーや補修材で平滑にします。
- **基礎天端の角に欠けが無い。**
角に欠けがあるとその隙間から浸水するおそれがあります。
欠けがある場合は、事前に補修をして直角にします。

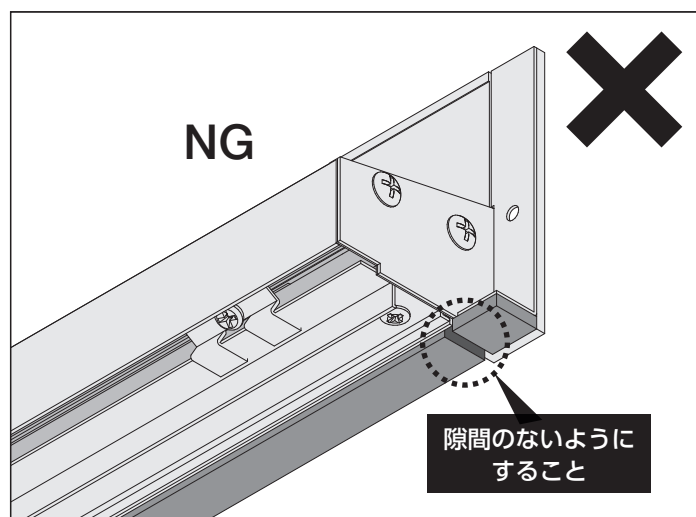
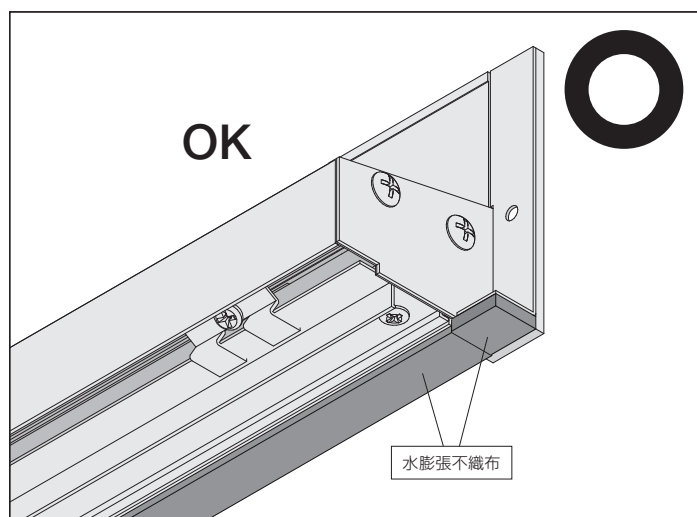


施工のルール

- 製品の接合部は必ず各種役物をご使用ください。
- 本体 / 役物の取り合いは隙間なく設置してください。



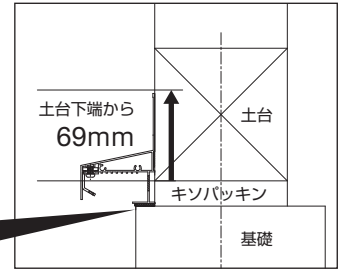
- 製品下端にある水膨張不織布は連続させたい。製品下端にある水膨張不織布と基礎天端の取り合いは隙間なく設置してください。
※水膨張不織布が途切れている場合は、途切れている部分に水膨張不織布を貼り付けてください。



1 水切り固定位置の墨出し

土台下端から69mm (参考値: 基礎天端に水膨張不織布が接地すること) の位置に墨出しをしてください。

※本製品はJotoキンパッキング工法を想定しております。

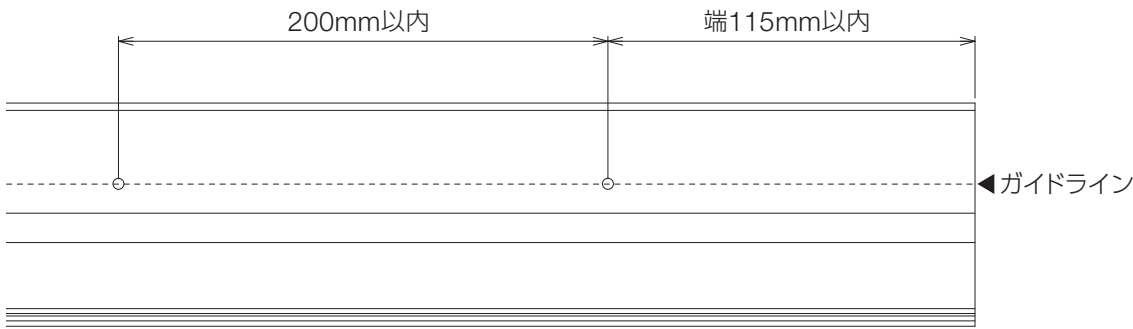


この部分の止水が重要です。

2 本体の加工と加工の際の注意点

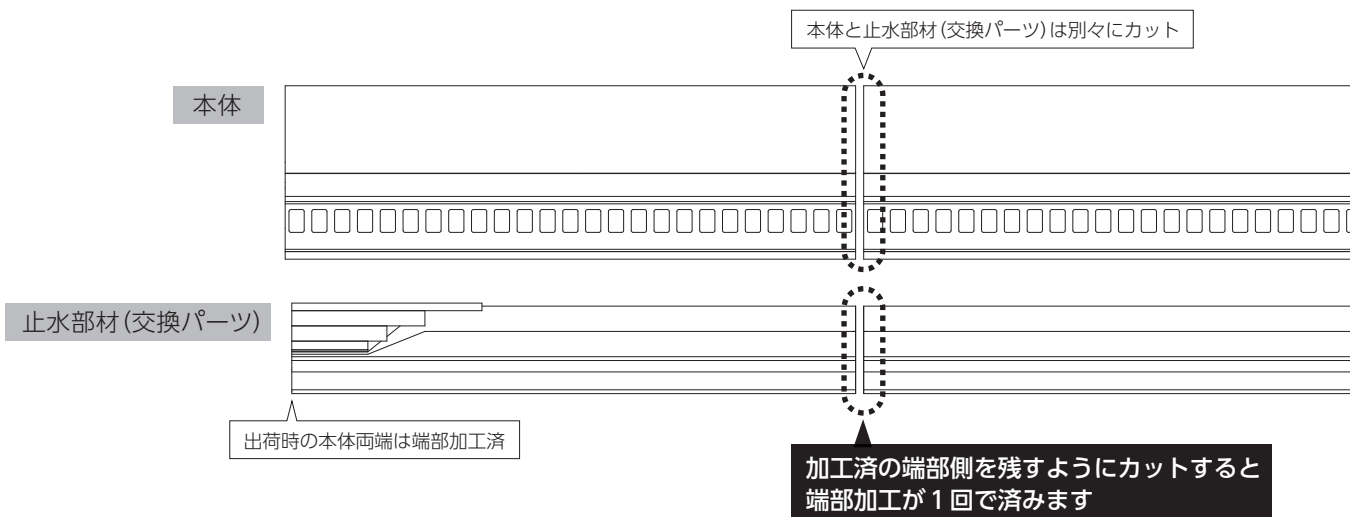
1 以下の寸法を参考に、本体に固定用の穴を開けてください。

- 高さ方向: 12mm以内 (図の示すガイドラインより下に穴を開ければ12mm以内になります。)
- 長さ方向: 穴のピッチは、端部115mm以内、端部以外は200mm以内
- 穴の大きさは $\phi 4.5\sim 5\text{mm}$



2 本体と止水部材 (交換パーツ) の長さをカットする際は以下に注意してください。

- 必ず本体と止水部材 (交換パーツ) を別々にカットしてください。
- 各長さ $\pm 1.0\text{mm}$ に抑えてください。
例) 本体: 1050mm \Rightarrow 止水部材 (交換パーツ): 1049~1051mm
= 止水部材 (交換パーツ) が1049mm未満または1051mmより大きくなるように注意)
- カット後はそれぞれをヤスリ等でバリ取りしてください。
バリが残っていると止水機能が十分に発揮されないおそれがあります。

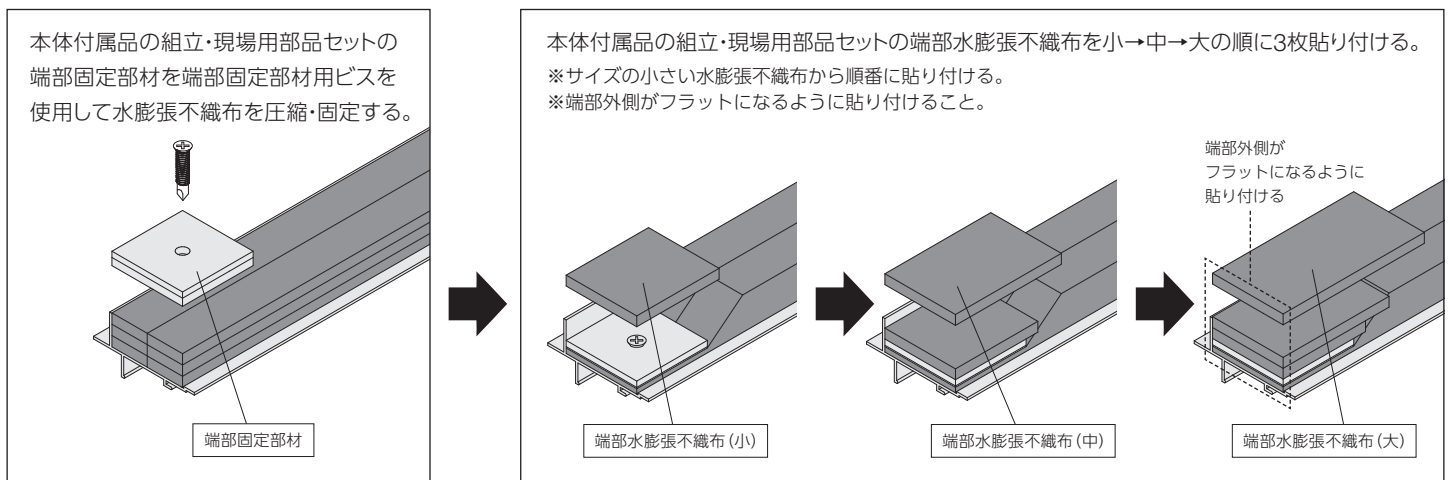


※本体カットのポイント

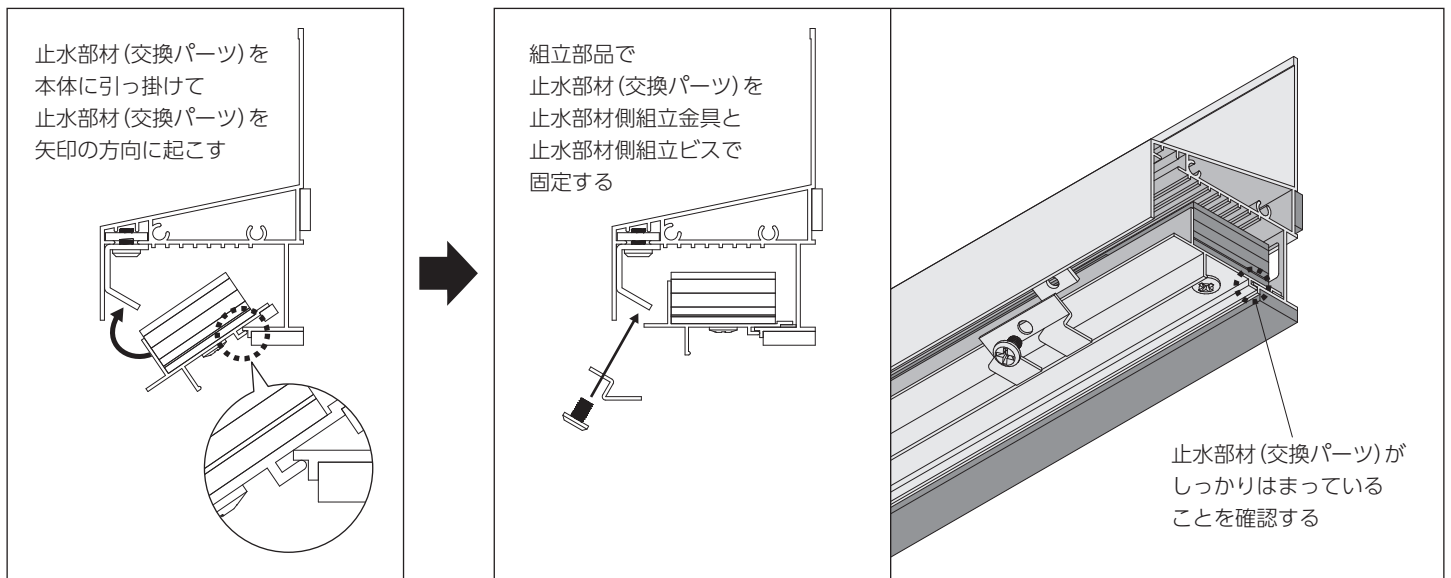
出荷時の本体両端は水膨張不織布の端部加工がすでに施されているため、カットの際はどちらか一方の端部を残すと端部加工を1工程減らすことができます。

2 本体の加工と加工の際の注意点

3 止水部材(交換パーツ)をカットした場合、カットした端部に以下の処理を行ってください。



4 本体と止水部材(交換パーツ)を組み立てます。

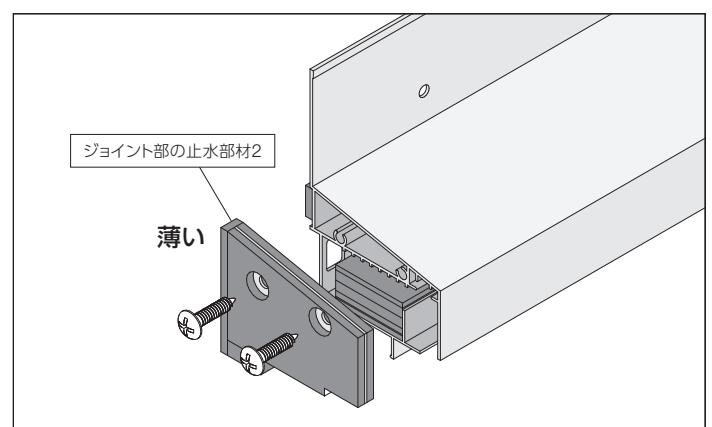
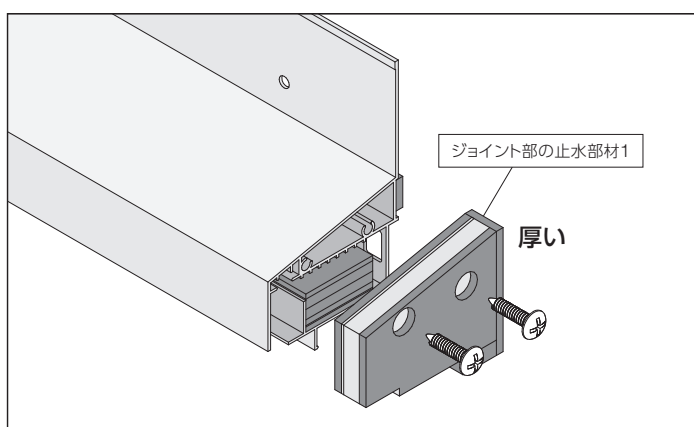


5 ジョイント部にジョイント部の止水部材を取り付けます。

●水切りに向かい右側にジョイント部の止水部材1(厚い)、左側にジョイント部の止水部材2(薄い)を取り付けます。

※出隅部の止水部材/入隅部の止水部材/エンド部の止水部材を使用する箇所はジョイント部の止水部材は不要です。

本体を先に組み立てる際にはご注意ください。



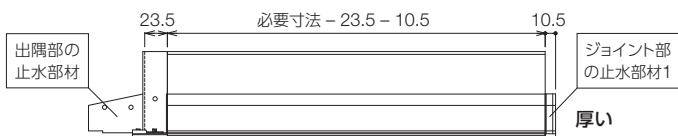
6 役物の組み合わせとカット寸法

●本体と役物の組み合わせで長さかわりますので、カットする際の参考にしてください。

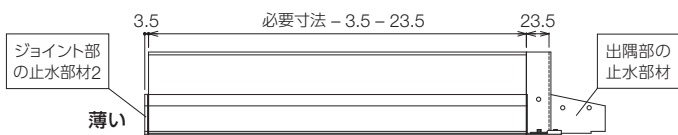
※出隅部の止水部材/入隅部の止水部材/エンド部の止水部材を使用する箇所はジョイント部の止水部材は不要です。

出隅部

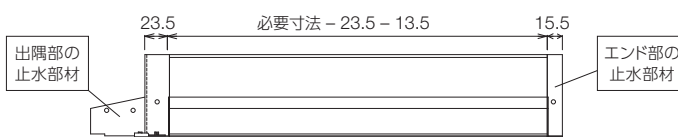
- A** 出隅部の止水部材とジョイント部の止水部材1の組み合わせの場合：
必要寸法 - 23.5 - 10.5
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 23.5 - 10.5 = 966$



- B** 出隅部の止水部材とジョイント部の止水部材2の組み合わせの場合：
必要寸法 - 3.5 - 23.5
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 3.5 - 23.5 = 973$

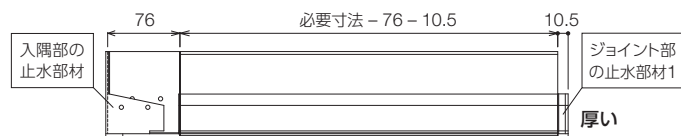


- C** 出隅部の止水部材とエンド部の止水部材の組み合わせの場合：
必要寸法 - 23.5 - 15.5
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 23.5 - 15.5 = 961$

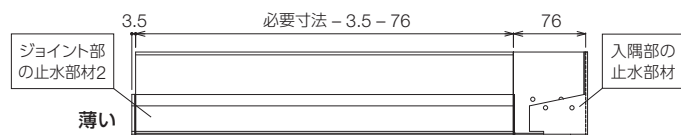


入隅部

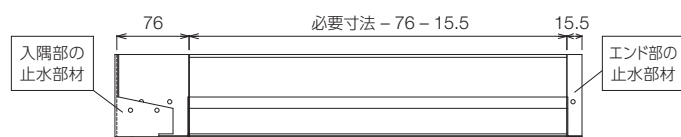
- D** 入隅部の止水部材とジョイント部の止水部材1の組み合わせの場合：
必要寸法 - 76 - 10.5
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 76 - 10.5 = 913.5$



- E** 入隅部の止水部材とジョイント部の止水部材2の組み合わせの場合：
必要寸法 - 3.5 - 76
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 3.5 - 76 = 920.5$

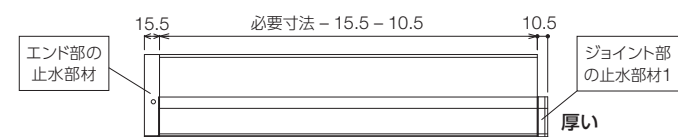


- F** 入隅部の止水部材とエンド部の止水部材の組み合わせの場合：
必要寸法 - 76 - 15.5
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 76 - 15.5 = 908.5$

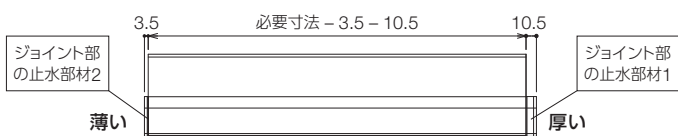


中間部

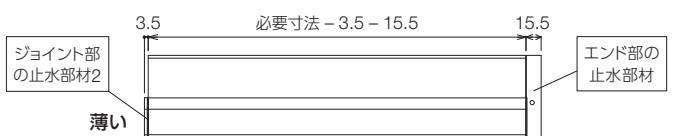
- G** ジョイント部の止水部材1とエンド部の止水部材の組み合わせの場合：
必要寸法 - 15.5 - 10.5
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 15.5 - 10.5 = 974$



- H** ジョイント部の止水部材1とジョイント部の止水部材2の組み合わせの場合：
必要寸法 - 3.5 - 10.5
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 3.5 - 10.5 = 986$



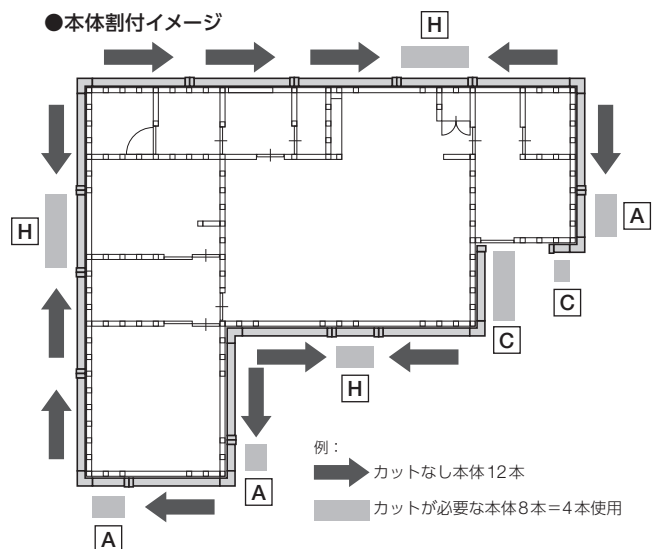
- I** ジョイント部の止水部材2とエンド部の止水部材の組み合わせの場合：
必要寸法 - 3.5 - 15.5
例) 必要寸法が1000mmの場合、 $1000 - 3.5 - 15.5 = 981$



※中間部**H**組立時

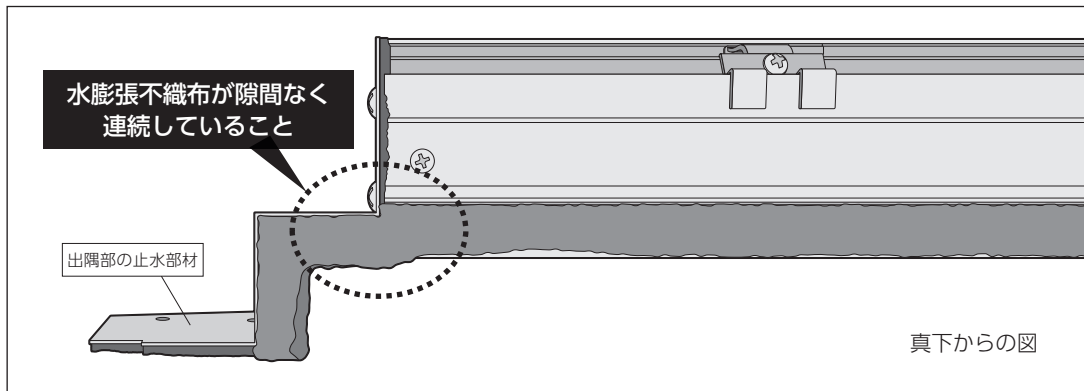
事前の割付を参考に → を先に施工し、
■ を後から採寸し、カット/組み立てする
ことをおすすめします。

●本体割付イメージ

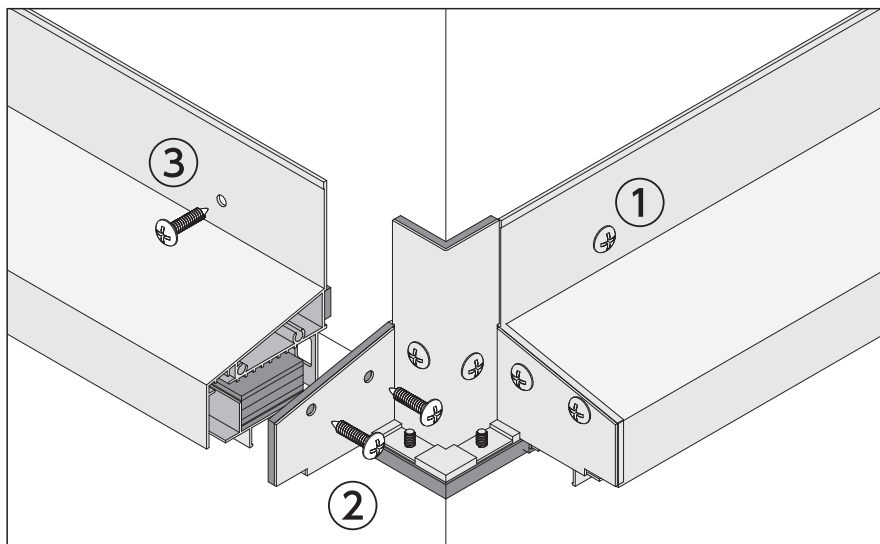


3 出隅部の施工

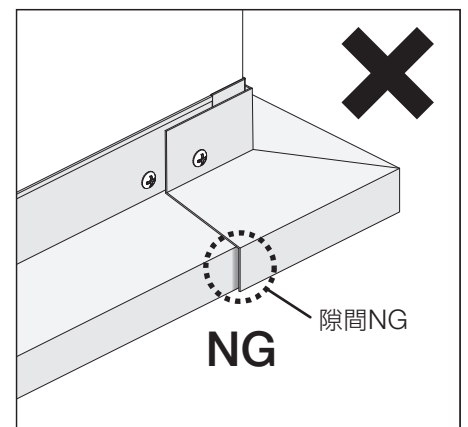
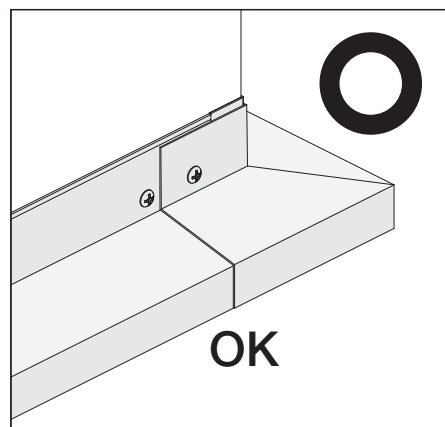
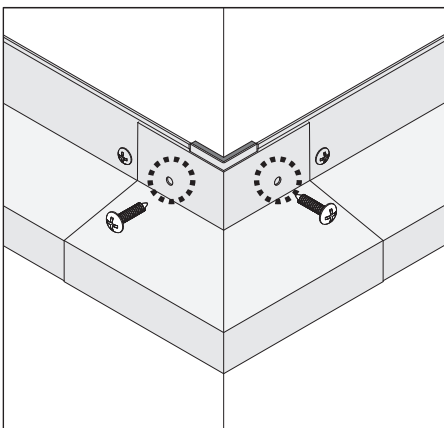
1 水切り本体の一方に出隅部の止水部材を取り付けて組み立てます。



- 2 ①で組み立てた水切り本体を土台に固定し、
②出隅部の止水部材のもう一方に水切り本体を取り付けます。
③その後、もう一方の水切りを土台に固定します。



3 カバーを取り付けます。

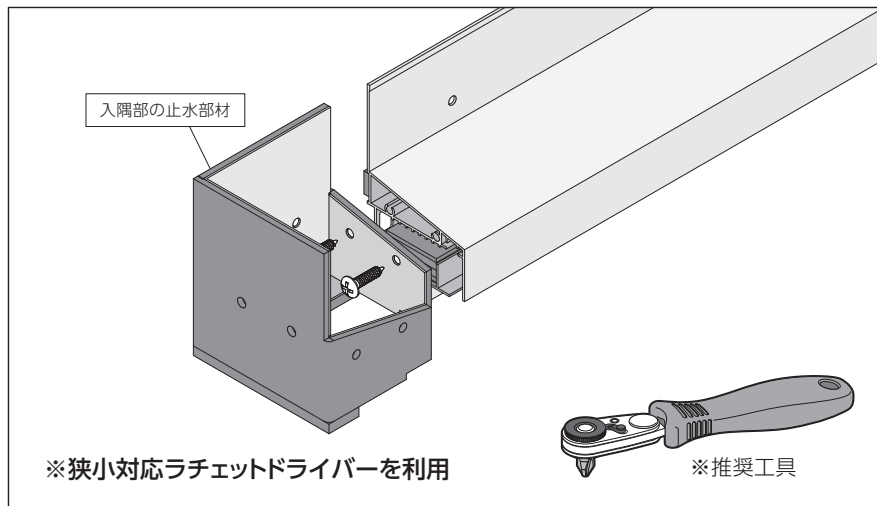


取付用に下穴を開けてください。
ビスの径に対し大きめに穴を開けていただくと
隙間の調整がしやすくなります。

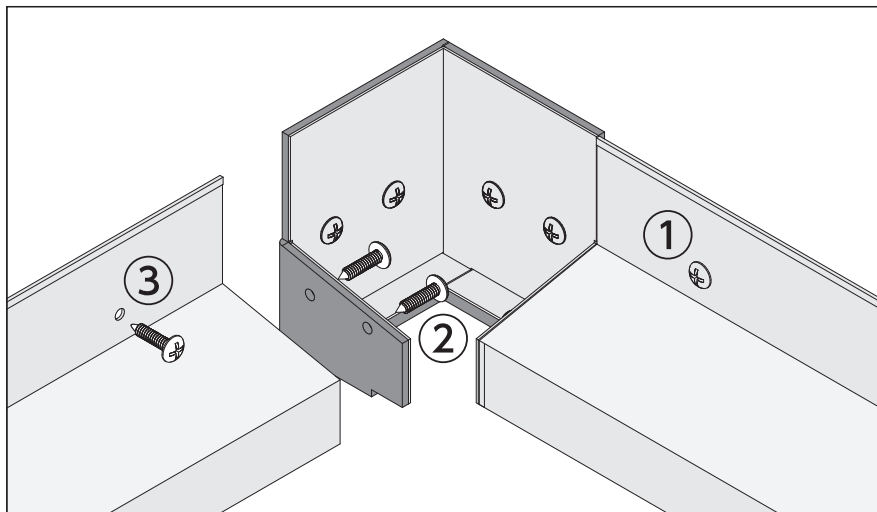
カバーは本体となるべく隙間のないように角度を調整して取り付ける。

4 入隅部の施工

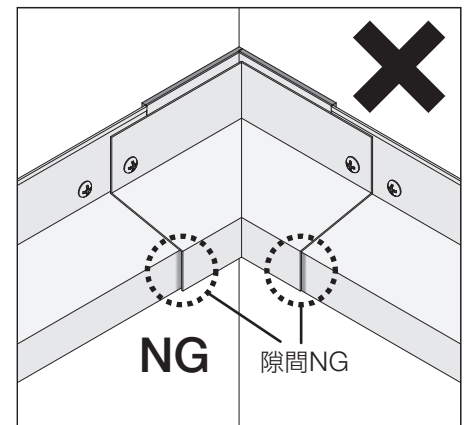
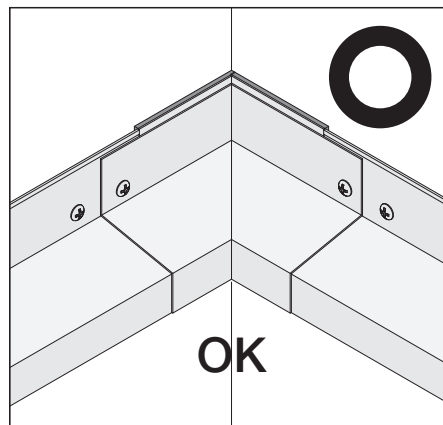
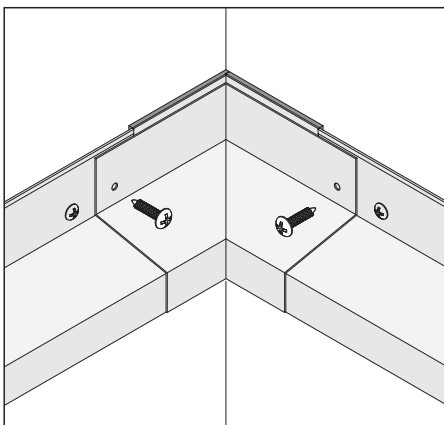
1 水切り本体の一方に入隅部の止水部材を取り付けて組み立てます。



- 2** ① ①で組み立てた水切り本体を土台に固定し、
② 入隅部の止水部材のもう一方に水切り本体を取り付けます。
③ その後、もう一方の水切りを土台に固定します。



3 カバーを取り付けます。



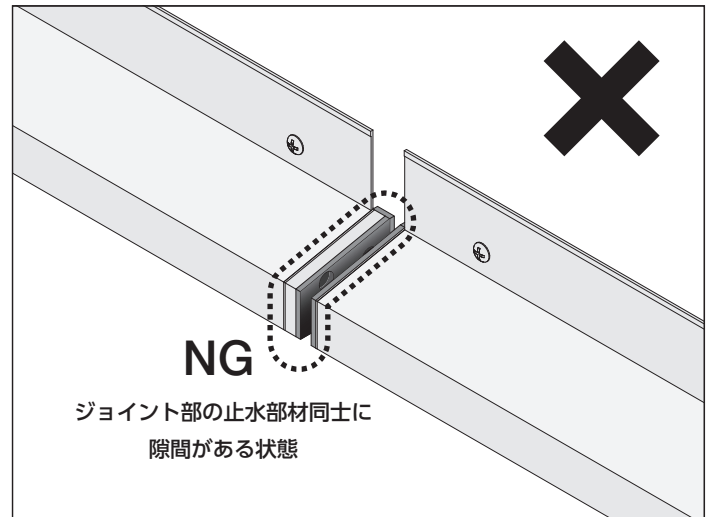
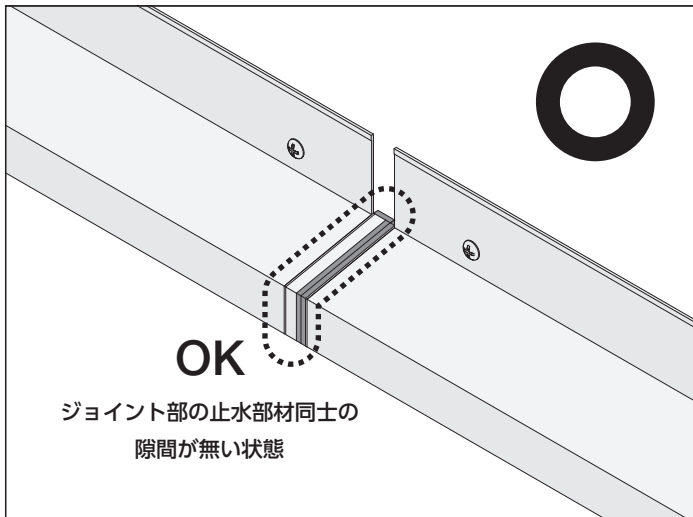
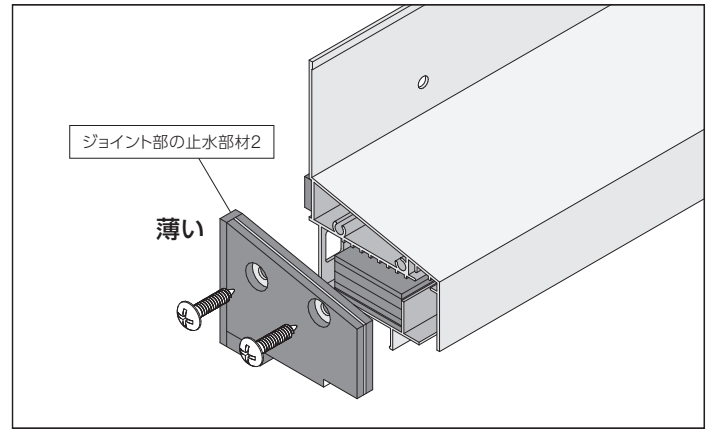
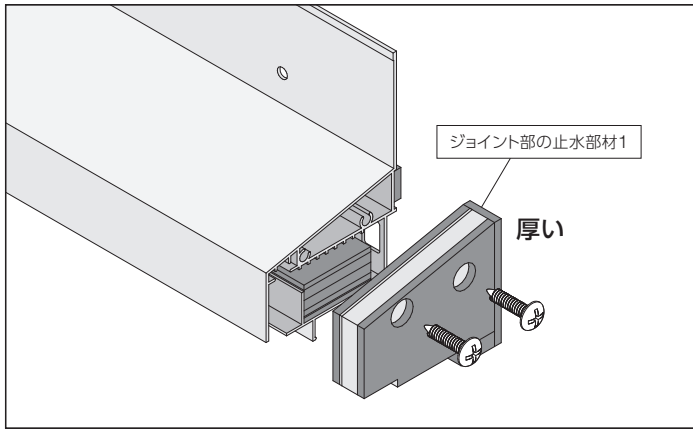
取付用に下穴を開けてください。
ビスの径に対し大きめに穴を開けていただくと
隙間の調整がしやすくなります。

カバーは本体となるべく隙間のないように角度を調整して取り付ける。

5 ジョイント部の施工

- 1** 下図の様にジョイント部の止水部材が組み立てられた水切り本体同士をジョイント部の止水部材の隙間が生じないように土台に固定します。

水切りに向かい右側にジョイント部の止水部材1(厚い)、左側にジョイント部の止水部材2(薄い)であることを確認してください。

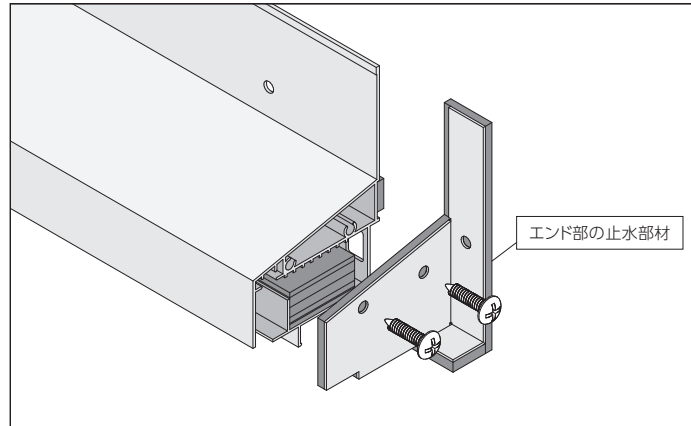


- 2** カバーを取り付けます。

6 エンド部の施工

1 水切り本体にエンド部の止水部材を取り付け、土台に固定します。

※エンドキャップの左右を間違えないように気をつけてください。



2 カバーを取り付けます。

7 仕上がりの確認

土台に固定された水切りに各種役物のカバーと止水部材 (交換パーツ) が設置されていることを確認してください。

浸水被害があった際などに、止水部材 (交換パーツ) を交換する場合

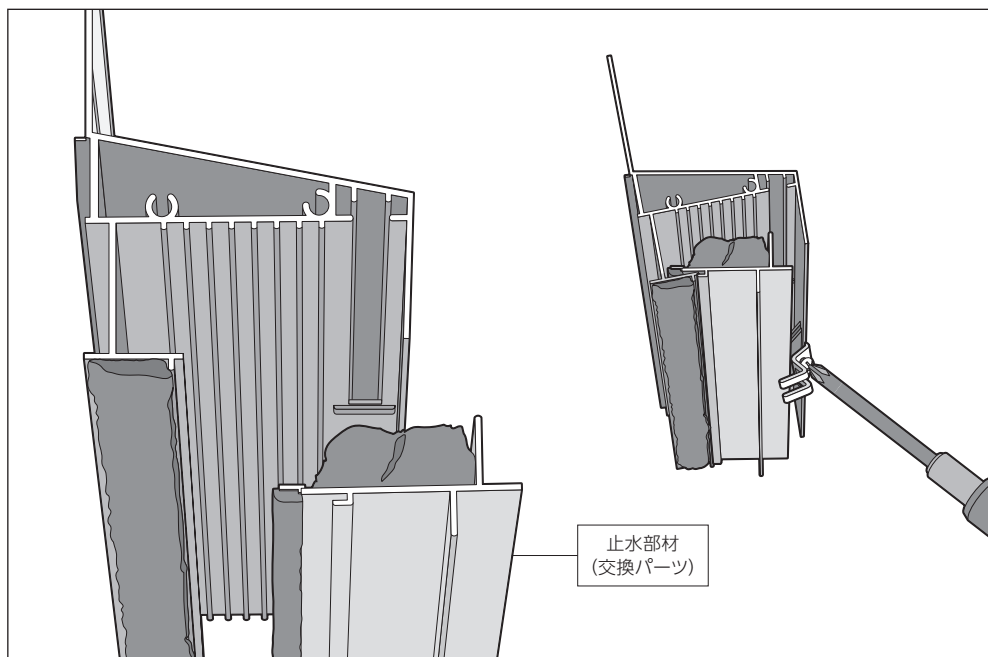
水切り下面の止水部材側組立ビスを外すことで止水部材側組立金具を取り外せます。

金具が外れた状態で止水部材 (交換パーツ) を外側に引っ張ると止水部材 (交換パーツ) を取り外せます。

新しい止水部材 (交換パーツ) へ入れ替え、取り外した時と逆の手順で金具とビスを使い、固定してください。

止水部材 (交換パーツ) の交換時は水膨張不織布が連続するように固定してください。

※水切り本体の止水部材 (交換パーツ) 以外の止水部材の交換はできませんが、止水効果は継続しますので交換の必要はありません。



水切り本体の止水部材 (交換パーツ) を交換いただくことで、換気と止水機能を回復させることができます。

